

機械器具 32 医療用吸引器
一般医療機器 特定保守管理医療機器 真空吸引器 (36778000)
(一般医療機器 吸引器用キャニスタ(34858000))

再使用禁止
(吸引バッグ)

壁掛吸引器 WS-1400

(WS-1000 ディスポP型/WS-1000 ディスポS型/WS-1000 VacSax 架台用 P型/ WS-1000 VacSax 架台用 S型)

【禁忌・禁止】*

＜併用医療機器＞

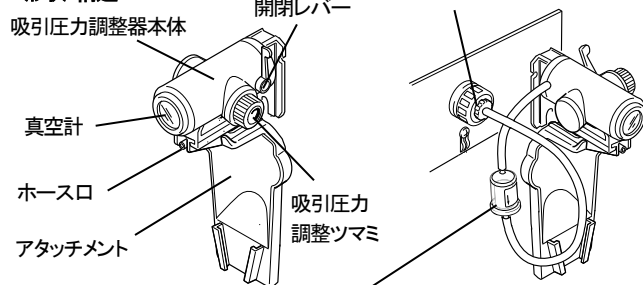
- 吸引バッグは再使用しないこと。〔単回使用のため〕

＜使用方法＞

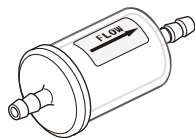
- 本器の使用目的以外の目的(採血用など)では絶対に使用しないこと。〔正常に作動する保証ができず、危険が伴うため〕
- 逆流防止フィルターや吸引配管プロテクターに、アルコール等の溶剤や消毒液を流さないこと。〔液体が通過する場合がある〕

【形状・構造および原理等】**

1.形状・構造



吸引配管プロテクター(標準付属品)
院内配管への吸引物のミスト浸入を防ぎます。
吸引圧力調整器本体と吸引アダプターの
中間ホースに接続して使用します。
吸引物を吸い込んでしまった場合は、1回で
目詰まりを起こし、吸引できなくなります。そ
の場合は、必ず新品と交換してください。
交換方法は【保守・点検に係る事項】を参
照してください。



2.原理

本器は、院内配管設備の吸引源などを利用した非電動式吸引器です。吸引圧力調整器本体はダイヤフラムとスプリング、吸引圧力調整ツマミ等で構成され、吸引源に接続するとダイヤフラムを挟んだ両側に圧力差を生じ(吸引源圧力と大気圧の差)、吸引圧力調整ツマミを回すと弁が開いて、吸引瓶内に負圧が生じ吸引が可能となります。吸引圧力調整ツマミによりスプリングの伸縮を調整することで吸引圧力を調整できます。

仕様等

10秒以内に-20kPa以上の吸引圧力に到達する。

【使用目的】

本器は、病院の医用ガス供給システムから供給される陰圧を利用して、ベッドサイド又は手術室の患者の気道の異物除去、口腔内の不要溜り液、手術中又は手術後の血液、洗浄・消毒液の吸い取りなど、医療施設内での治療・吸引処置に用いられる。

【使用方法等】*

1.準備

各項目の接続が不完全な場合、必要な吸引圧力が得られないことがあります。接続は奥までしっかりと行ってください。
吸引バッグ及び吸引キャニスタの取扱いは「VacSax 吸引システム」の添付文書をお読みください。

- ① 病室のアウトレットパネル部のハンガー受けに取り付けてください。

- ② 開閉レバーが「閉」の位置であることを確認してください。

- ③ アタッチメントが吸引圧力調整器本体に取付けられていることを確認してください。

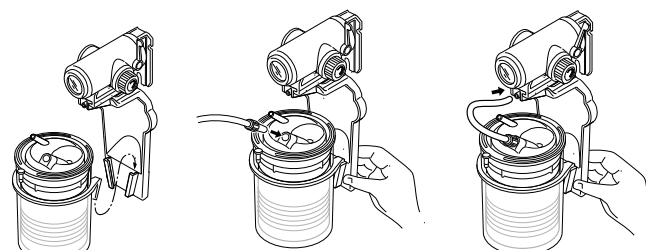
※アタッチメントを外すときには矢印部(両側)を指で押しながらかしに引いてください。

- ④ 吸引アダプターを、アウトレットパネルの吸引用アウトレットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

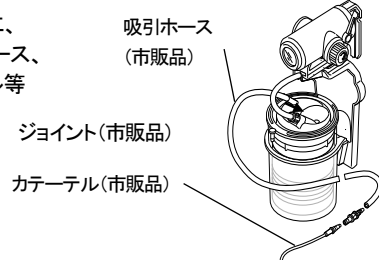
- ⑤ 吸引バッグをセットした吸引キャニスタを、アタッチメントに取り付けます。

- ⑥ 本体-吸引バッグ接続ホースの吸引口コネクタをねじ込むようにして吸引バッグの吸引口に差し込みます。
※各ホース類の脱着時は、アタッチメント等を押さえながら行ってください。

- ⑦ 接続ホースのもう一方をアタッチメントのホース口に差し込みます。



- ⑧ 吸引バッグの患者口に、目的に合った吸引ホース、ジョイント、カテーテル等を接続します。



また、VacSax ディスポ吸引システム架台を使用することで吸引キャニスタ、及び吸引バッグを連結して使用することもできます。
(WS-1000 VacSax 架台用 P型/ WS-1000 VacSax 架台用 S型のみ。)

取扱いは別紙「連結用架台・吸引バッグの取付方法」をご参照ください。



2.使用方法

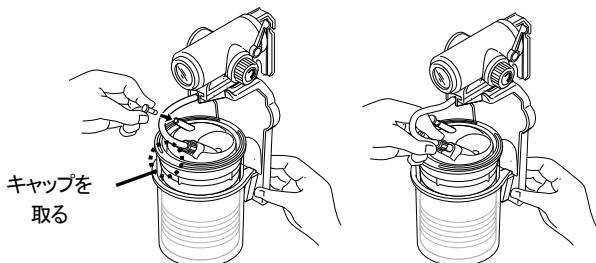
- ① 開閉レバーの位置を「開」の位置にします。
- ② 指で吸引ホースを折り曲げ、真空計を見ながら吸引圧力調整ツマミを回して、必要な圧力(医師の処方した圧力)に調整します。
- ③ 圧力が設定できたら、吸引を開始してください。
- ④ 吸引を中止する時は、開閉レバーを「閉」の位置にしてください。

※低圧で使用した場合、内部部品の振動音がすることがあるので、その際は僅かに設定を変えて解消してください。



3.使用後の取扱いについて

- ① 吸引が終了したら、「吸引器用キャニスタ」の添付文書に従って、吸引物およびキャニスタ・バッグの処理を行ってください。
(吸引バッグの患者口から吸引ホースを抜き、吸引バッグ頭部の縁にあるキャップを取り、患者口(PATIENT)にしっかりと押し込んでください。その後、吸引口から接続ホースの吸引口コネクタを抜きます。)吸引バッグがいっぱいになった場合は、患者口(PATIENT)にキャップを取り付けるまで吸引源の動作を停止しないでください。(吸引物が逆流する場合があるため。)



- ② 吸引バッグの処理が終了したら、開閉レバーを「閉」の位置にして、パイピングの吸引源を止めてください。
- ③ 吸引圧力調整器本体の外装部は、水で湿らせた布に中性洗剤を少量加えて汚れを落とし、乾いた布等できれいに拭き取ってください。(クレゾール、ヨードホルム、アルコール系、両性界面活性剤等の消毒剤で清拭しないでください。ヒビ割れの原因になります)

【使用上の注意】*

<重要な基本的注意>

- 本器及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
- 使用状況により、吸引バッグの逆流防止フィルターが作用し吸引物が十分な吸引ができなくなる場合がありますので注意すること。
- 長期間使用しない場合は、開閉レバーを「閉」の位置にし、必ずアウトレットパネルから、吸引アダプターを外しておくこと。
- 長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど作動上の安全を確認してから使用すること。

<不具合・有害事象>

- 1)重大な不具合
吸引異常(吸引不能・過吸引)
- 2)その他の不具合
接続部からの気密漏れ
- 3)その他の有害事象
感染

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管してください。
- 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意してください。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

<耐用期間>

本器(吸引圧力調整器本体)の耐用期間は、購入後7年です(当社データによる自己認証)。ただし、推奨された環境で使用され、次の「保守・点検に係る事項」を実施した場合の耐用期間であり、使用状況により差異が生じることがあります。

※吸引圧力調整器本体以外は消耗部品となります。

※吸引バッグは単回使用です。詳しい吸引キャニスタ・バッグの耐用期間等は「VacSax ディスポ吸引システム」の添付文書を参照してください。

【保守・点検に係る事項】*

<使用者による保守・点検>

点検項目(日常点検)

- 1)外観の点検(破損・ヒビ・汚れ・部品の紛失など)
- 2)パッキンが正しく取り付けられているか確認してください。
- 3)接続部やツマミ等に緩みがないことを確認してください。
- 4)開閉レバーの動きが正常で、指で吸引ホースを折り曲げ、吸引圧調整ツマミを回して、真空計の指示値がスムーズに変動することを確認してください。

点検頻度:使用前に点検

点検項目(保守点検)

日常点検の項目に加え、各部品に変形や劣化がないかなど、より詳しく本器の状態を確認してください。

点検頻度:3カ月に一度

点検により異常が発見された場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者に点検・修理を依頼してください。

<業者による保守・点検>

点検項目(定期点検)

ゴム製部品などの消耗部品の交換のほか、機能・性能点検を行います。また、必要に応じて消耗部品以外の劣化の進んでいる部品の交換を行います。(有料となります。点検周期については当社推奨)

点検頻度:2年に一度

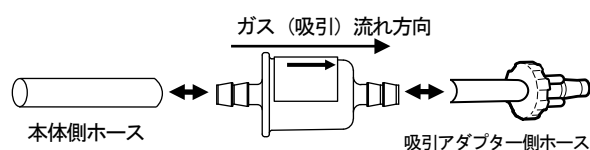
消耗部品の交換について

ゴム製部品、ホース類は消耗部品です。破損、ヒビ、劣化や変形等が見られる場合には速やかに当社純正部品に交換してください。交換部品については販売店へご連絡ください。また、ゴム製部品およびプラスチック製部品は経年劣化しますので定期点検を必ず受けてください。

●吸引配管プロテクターの交換

- ・吸引配管プロテクターの目詰まりにより、吸引力の低下がみられる場合は新品に交換してください。
- ・滅菌・消毒しての再利用は出来ません。必ず新しいプロテクターと交換してください。

プロテクターに表示されている矢印の向きが、ガスの流れの方向と一致していることを確認してください。また、接続ホースから脱落しないように確実に取り付けてください。



吸引配管プロテクターを交換しても吸引力が低下している場合は、吸引圧力調整器本体の修理を依頼してください。

修理について

お買い上げの販売店にご相談のうえ、製造販売元または医療機器修理業者で修理を行ってください。

お願い

本器を修理として戻される場合には、清拭による消毒を行った後にお戻しください。なお、感染症の恐れがある場合にはお受け取りできませんので、あらかじめご了承ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元:株式会社 Sanko Medical

埼玉県さいたま市西区中釘 652 番地 048-624-8121

製造元:VacSax Limited Western Wood Way Langage Science Park
Plymouth PL7 5BG United Kingdom +44(0)1752 337000